カトリック高松教区報

（新教皇就任特集号）

2005年5月1日（号外）
発行所 カトリック高松司教区
広報委員会
〒760-0074
高松市桜町1-8-9
TEL　087-831-6659
FAX　087-833-1484
Email　tkcuria@mxi.netwave.or.jp

ベネディクト16世教皇就任にあたって

高松教区長　溝部　脩

私の予想に反してラッツィンガー枢機卿が新教皇に選ばれました。年齢とか、健康状態を考えた場合、超多忙の教皇職は不可能ではないかと思ったからです。それでも枢機卿たちが選んだということは、やはりそれなりの理由があったからでしょう。多分新教皇が直面しなければいけないと感じている課題を全員に近い枢機卿たちが感じていたからではないかと思います。それは現代世界という問題です。現代社会は相対主義の社会であり、混沌たる価値観に沈みこみ、出口のない様相を示しています。その中にあって孤高のように、巨人のように立ちはだかり、戦ってきたのが元教理省の新教皇でした。今新教皇とともに現代社会に挑戦するという課題をこの選挙を通して教会は確認したと私には思われました。

コンクラーベに入る前のラッツィンガー枢機卿の説教の中に、その考えは如実に窺われます。又彼がベネディクトと名乗った理由も読み取れます。聖ベネディクトは中世ヨーロッパが生まれるためには不可欠の人物でした。蛮族の侵入を前に確固とした修道共同体をつくり、古典キリスト教文化を通して蛮族をキリスト教に根ざした一致へと導いたのです。混沌たる現代世界を前に、新しいベネディクトは敢然と挑もうとしているかのようです。

４月19日（火）午後６時過ぎ（日本時間20日午前１時過ぎ）、コンクラーベ開始４回目の投票により、ヨゼフ・ラッツィンガー枢機卿が新教皇に選出されました。新教皇はベネディクト16世を名乗ることになりました。

ヴァチカンから世界へ

教皇ヨハネ・パウロ二世の葬儀には、世界の中心人物が大勢参列していました。それだけ教皇様の影響力が大きかったのでしょう。新教皇ベネディクト一六世にも、カトリックの中だけでなく、世界の平和のために力を発揮してほしいと思います。特に平和が軽んじられている今、切に願います。

新教皇様は同性愛や、急進的フェミニズムを否定し、女性司祭の誕生や聖職者の結婚を禁止するなど超保守的であるという見方もされてきました。しかし、私は、新教皇様にリベラル派の考えを無視することなく一つの考えとして受けとめつつ、根本的な部分でその保守である厳しさ、難しさを守っていってほしいと思います。

新教皇様は就任の時に「私は神のブドウ畑で働く素朴なつつましい働き手。ともに祈ってください」といっておられます。

テレビで拝見した新教皇様は丸いお顔の口元にちょっと笑みを含んだ表情をしていて厳しさの中に深い優しさを感じました。

番町教会　吉村淳子

新教皇の御就任を祝って

御就任おめでとうございます。前教皇様の補佐役を長い間ご苦労様でした。今度は自ら側近や各地の聖職者、信徒を手足として、使徒ペトロの後継者としての目と心を全世界に注いで下さい。戦地に平和が訪れ、難民が帰郷し、母親が安心して子供を育て、若者が先祖代々の豊かな文化を享受する、その日のために、パパ様のお働きを主が祝福して下さいますように。

坂出教会　曽我部輝子

新教皇様に望むこと

ヨハネ・パウロ二世が亡くなられ、悲しみのうちにあった私達でしたが、前教皇様の影の力となって支えてこられたベネディクト一六世が新教皇に選ばれたことを嬉しく思い、感謝します。

ヨハネ・パウロ二世は、亡くなられる直前まで自らの苦しみを他の人々のために捧げられ、励まし、勇気づけてこられました。特に人間の傲慢さがつくり出した貧しさや偏見、迫害などによって小さくされた者の側に立ち、励ましと愛を注いでくださいました。それは正にイエス・キリストの生き方でした。

私達は、新教皇様もヨハネ・パウロ二世が示されたように愛を持って周りの人々と分かち合い、平和の実現に向けて努力してくださると信じています。

新教皇様に従って私達も愛と祈りを大切にし、キリストを伝えるものとして原点に立ち返り努力して参りたいと思っています。

どうか、新教皇様に神様のご加護と祝福がありますように！

松山教会　尾崎寿一

青年たちが望むこと

この度、新しく教皇になられましたベネディクト一六世に青年より望むことは、争い

のない平和な世界になっていくことと、キリストの道を一緒に歩んでいくことです。

今も世界各地で争いがたえないことに心が痛み、日本も不安定な社会の中にありますが、四国の青年たちは、それぞれに集まって地道に活動を続けています。今、青年たちでできることは、教皇様の意志を理解して、自分たちの周りの小さな社会から豊かにしていくことと思います。

いつか、みんなの祈りが届き、平和な世界となり、青年たちもいきいきと活動していけるよう、世界に呼びかけを続けていってほしいです。これからの教会を担っていく青年たちも、できることを積み重ねながら頑張っていきたいと思います。

江の口教会　山中智代

神の導きと助けを

重い責任を担って生涯を戦い抜き、走り通した前教皇の偉大な足跡を偲びつつ、新教皇の誕生を心からお喜び申し上げます。

「わたしの羊を飼いなさい」といって、主イエス・キリストから全人類の救霊を託されたときの聖ペトロの心境はいかばかりであったか、察するに余りあります。しかし、それ以来二千年の時を経た現代は、当時とは比べものにならないほど複雑化し、錯綜しています。一般社会の多様な問題とともに、教会内部においても信仰の希薄化、若者の教会離れ、分裂の克服、いのちに係る諸問題…などなど、課題は枚挙にいとまがありません。

こうした現実の中で、カトリック教会は今その基盤を堅持しつつ、社会との折り合いをどうつけるかが問われています。われわれ一般信徒には、この大きな使命に立ち向かおうとしている新教皇の壮烈な心のうちは想像だに出来ませんが、神が教皇を導き、力づけ、必要なすべての助けを与えてくださるよう切にお祈り申し上げます。

鳴門教会　福田健一

新教皇ベネディクト一六世の誕生にあたって

前法王ヨハネ・パウロ二世が暫らく前からパーキンソン病を患っておられると聞いていたが、とうとうお亡くなりになられた。以前、日本に来られたとき私は広島で間近に拝謁することができたが、あのような経験がなければ私にはローマ法王はもっと遠い存在でしかなかったように思う。教皇様という呼び方が私にはなじみ深いが、いつの時だったか外国訪問の途中に銃で撃たれられたとき、すぐに「私は彼を赦します」と言われたというニュースを感動して聞いたことがあった。空飛ぶ教皇庁とも言われたそうだが、百カ国以上の国を訪問され、その地に降り立った時はまず跪いて大地に接吻される姿は、その国への尊厳とその国に住む人たちへの愛情と信頼を多くの人にいだかせる姿であったように思う。平和を望むキリストの代理者としての姿がそこにあったといえる。

ニュースで見る限りでは、ヨハネ・パウロ二世の葬儀に対して日本からの出席者は諸

外国に比べやや力が入っていない感じを受けた。欧米と互角に勝負したいと思っている国ならもう少しその辺りの配慮があってしかるべきかとも感じられたが、そのような対応がまかり通るのは日本が非キリスト教国だからというよりも無宗教国家だからかもしれないと思った。その反省からか、次期法王選出に当たってのコンクラーベという言葉がさかんに用いられてマスコミも注目している態度を前面に出していたようにも思ったが、たまたま家庭の都合で国外にいて忙しくしていたので、その後のことは新聞の報道しか見ないこととなった。

ヨゼフ・ラッツィンガー枢機卿（ドイツ出身七八才）が選出されて新教皇ベネディクト一六世となられたという事であり、まずはお慶びを申し上げたい。第二六五代という事であり、二千年を割り算すると一人あたりの平均が七～八年となる。新教皇様は新聞によれば「私は神のブドウ畑で働く、素朴なつつましい働き手。ともに祈ってください」と挨拶されたという。ヨハネ・パウロ二世の最も近い一人であったという事であり、その意味では大きな流れの変化はないだろうと思われる。世界の国々が抱える様々な問題に誤りのない指針が発信されることこそ神様から教皇様に課せられた最も大切な仕事であると思われるので、小さな日本の、そのまた片隅の四国に住む私達一人一人はこれを機会にもう少し教皇様を身近に感じるようになり、教皇様のために祈ることこそが教皇様のお仕事を陰ながらお手伝いすることになるのだろうと思った。

桜町教会　多田東臣

新教皇ベネディクト16世（ヨゼフ・ラッツィンガー枢機卿）の略歴

1927年４月16日	ドイツ・バイエルンのマルクトル・アム・インに生まれる（78歳）
1951年６月29日	司祭叙階
1962年	35歳で第２バチカン公会議顧問になる
1977年５月28日	司教叙階
1977年６月27日	パウロ６世により枢機卿親任
1981年11月25日	教皇ヨハネ･パウロ２世により教皇庁教理省長官、聖書委員会・国際神学委員会委員長に任命される
1986～92年	『カトリック教会のカテキズム』編纂委員会委員長
1998年11月６日	枢機卿団首席枢機卿代理に選出される
2000年11月13日	教皇庁科学アカデミー名誉会員
2002年11月30日	首席枢機卿となる
2005年４月19日	第265代教皇に選出され、ベネディクト16世を名乗る